

平成23年第5回(11月)掛川市議会定例会
一般質問発言順序

- | | | |
|---|-----|-------|
| 1 | 19番 | 松井俊二君 |
| 2 | 9番 | 山崎恒男君 |
| 3 | 17番 | 大庭博雄君 |
| 4 | 8番 | 柴田正美君 |
| 5 | 4番 | 山本行男君 |
| 6 | 5番 | 中上禮一君 |
| 7 | 3番 | 川瀬守弘君 |

一 般 質 問 通 告 要 旨

議席番号	19	氏名	松 井 俊 二	質問の方式 (一問一答・総括)
------	----	----	---------	-----------------

1 中心市街地活性化について (答弁：市長)

- (1) 中心市街地活性化の必要性について、市の考えは
- (2) 1年経過した「けっトラ市」、「ストリートカフェ」への今後の取り組みは
- (3) 商工会議所による買物サポート運行事業の状況及び今後の方針は
- (4) 活性化の核事業である駅前東街区市街地再開発事業の取り組みについて

2 自転車事故防止と安全な自転車道の整備について (答弁：市長)

- (1) 自転車危険運転の取り締まりが強化されるが、市民への指導や周知は
- (2) 環境にも優しい自転車の普及が進む中で、市の自転車道整備の考えは

3 新東名高速道路の供用開始に向けた市の取り組みについて (答弁：市長)

- (1) 供用開始に向けたイベント開催への取り組みは
- (2) 倉真地区のサービスエリアを活用した事業への取り組みは

4 消防団員の安全管理と活性化に向けた取り組みについて (答弁：市長)

- (1) 消防団員の確保と機能別消防団員の体制づくりについて
- (2) 女性消防団員の増員への取り組みは
- (3) 消防団活動の使命と安全対策について

一般質問通告要旨

議席番号	9	氏名	山崎恒男	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

1 第1次掛川市総合計画の基本計画見直しについて (答弁：市長・教育長)

- (1) 平成33年をピークに人口は減少すると想定しているが、本市は既に減少している。定住人口の増加を目指してきたが、この現状をいかに受け止めているか伺う
- (2) 計画策定時と現在では、政治、社会情勢は激変している。市政を取り巻く、市民ニーズも多種多様に変化している。市長はこの変化をいかに見直しに反映しようとしているのか伺う
- (3) 計画策定時に掲げた主要施策を、市民意識調査結果、市民ニーズとの精査をし、整合を図りスクラップ・アンド・ビルドによる見直しも必要と思うが伺う
- (4) 新東名高速道路を活用した地域振興策の方策を明記する必要があるか伺う
- (5) 防災計画に3. 11を教訓とした、小中学校並びに一般市民に津波及び原発に対する防災知識習得の学習に関するソフト面の施策強化を図る必要があるか伺う

2 平成24年度の予算編成について (答弁：市長)

- (1) 新年度予算編成にあたり、手堅い緊縮財政の堅持か、社会資本整備と市民ニーズに配慮した積極的予算で臨もうとしているのか伺う
- (2) 新年度予算の編成方針で、各部課長に指示した重点事項は何であったか伺う
- (3) 新年度予算において、市税及び交付税等の歳入見込みについて伺う
- (4) 新年度予算で市長が重点主要施策として考えている事務事業は何か伺う
- (5) 現市立病院の閉鎖、財団法人開発公社解散時における、現時点で想定される清算額と支払い時期はいつになるのか伺う

3 地域の諸課題について (答弁：市長)

- (1) 都市計画用途地域における、容積率・建ぺい率の緩和措置について伺う
- (2) 西部地域の地域健康医療支援センターふくしあ及び関連施設の整備について伺う
- (3) 幹線市道桜木中央線の整備促進について伺う

一般質問通告要旨

議席番号	17	氏名	大庭博雄	質問の方式 (一問一答・総括)
------	----	----	------	-----------------

1 外国の都市との姉妹提携について (答弁：市長)

- (1) 11月25日、韓国横城郡との姉妹都市提携の調印が行われた。この提携に期待すること及び今後どのように進めていくか等について市長の思いを伺う
- (2) 他の2市(ユージン市・コーニング市)との提携の現状、今まで進めてきたことの評価及び反省等について伺う
- (3) 姉妹都市提携の今後のあり方及び展望について伺う

2 企業誘致について (答弁：市長)

- (1) 新病院隣接地の企業用地に2社が事業所を建設することになった。これからの展開、期待すること及び留意すること等について伺う
- (2) 第2エコポリスも企業誘致活動を行っている。社会情勢は厳しいがどのように活動しているか、現在の状況、期待されること及び心配となること等について伺う
- (3) 今まで、掛川市が進めてきた企業誘致、産業の活性化による豊かなまちづくりは大いに評価される。今後の展望について伺う

3 学校における放射線教育について (答弁：市長・教育長)

- (1) 福島原発の事故以来、「放射能」や「放射線汚染」について新聞・テレビでいろいろなことが報道されている。食物を中心に安全・安心が脅かされており、さらに日本全土に広がっている。特に、これから国を支えてくれる若者が将来を不安視するのが怖い。正しい知識をもって、この問題に対応できる教育環境をつくる必要があると考える。現在、小中学校では、児童・生徒の放射線に対する関心・知識はどの程度か、不安はないか伺う
- (2) 放射線教育に関する教材はあるか、指導する教師はいるか等、教育環境について伺う
- (3) 放射線教育について、今後どのようにすべきか、また、どのようにしていくか伺う

一般質問通告要旨

議席番号	8	氏名	柴田正美	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

1 浜岡原発・防災対策について (答弁：市長・教育長)

- (1) 原子力安全・保安院から中部電力への「やらせ質問」の要請、中電も動員。佐賀県・北海道のやらせ関与などに対する市長の見解を問う
- (2) 市長は、保安院の裁定による5号機の再起動に賛成した。今でも妥当と考えるのか
- (3) 浜岡原発は、震源域真上にある。3連動地震や「完新世段丘」の知見から想定される地震と津波に耐えられるとの見解か伺う
- (4) 中電は、砂丘で大丈夫、裕度向上の「18メートルの防波壁」で万全の立場だが、砂丘、防波壁は津波に耐えられるのか、市長の認識を伺う
- (5) 原発災害を想定した防災計画策定と訓練の具体化について伺う
- (6) 広報・安全等交付金で作られた原発回覧板は3. 11以降もそのまま運用されていいとの認識か
- (7) 新しく改訂された小中学校の「副読本」をどう評価しているか
- (8) 新しく配備するヨウ素剤の保管場所と配布方法の再検討を伺う
- (9) 想定外の事故は必ず起こりえるし、原発で「想定外」の言い訳は許されない。100%の安全は考えられず、永久停止・廃炉しかないのでは。見解を伺う
- (10) 中電、保安院以外の専門家の意見を聞く原発学習会の開催の意志はあるか伺う
- (11) 4市対策協議会で意見調整すべきとの市長会見だが、市長はどのような意見を持って臨むのか明らかにされたい
- (12) 5箇所を予定するという「津波タワー」だが、当面2基のみの計画、何にも増して急ぐべきではないか見解を伺う

2 市長の政治姿勢について (答弁：市長)

- (1) TPP関連で、米や北海道の乳製品、沖縄のさとうきび、三陸のワカメなど穀倉地帯である被災3県、中山間地農業などが壊滅してもいいと考えているのか。見解を
- (2) 米作を主に担う兼業農家に離農させ、集積図って専業農家へ援助金には賛成するのか
- (3) 肺炎球菌ワクチンへの公費助成なしの掛川市、高齢者への予防接種が重要では

3 都市計画税の見直しについて

(答弁：市長)

- (1) 6月議会で「全体の税金を、トータルの税金を増やす・減らすという議論はあろうかと思う」と答弁。具体的にどのような可能性を想定しているのか、見解を
- (2) 2月議会「地方税法 702条の課税基準を準用しないという答弁だが、それでは何を基準の課税か。」の質問に対して「受益がないと言ったのは、国の通知を読み上げた時にその話をした。」と答弁した。どのような意味か、基準を明確に示されたい
- (3) 辺地について一昨年6月議会は「より受益がある」、昨年12月議会では「全く受益がないから見直す」、180度違う見解はおかしくないか、見解を伺う
- (4) 三橋委員長の「辺地という形式的基準はおかしい」「100点とかでなく、受益があるか否かが課税の基準」の見解に対して答弁を避け続けている。今回こそ所見を
- (5) 「都市計画区域」は開発する地域と抑制する地域を想定。線引き自治体では「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分する。非線引き自治体でも「市街化調整区域」相当の地域は存在するのでは、見解を
- (6) 掛川区域の用途地域外で、和田岡・原谷・倉真・東山・上内田は都市計画事業がやられていないことがわかった。その他、どこの地域が全く行われていないか
- (7) 国土交通省の「都市計画運用指針」で、「用途地域は都市施設を定め」「用途地域外は都市施設を定めるな」とある。抑制する地域にも同じ課税では理屈が通らないのでは
- (8) 「地方税法 702条」の「都市計画法に基づいて行う都市計画事業」や「事業に要する費用」の規定は厳格に守られているのか伺う
- (9) 「地籍調査」の進捗率、大東・大須賀 100%。「掛川区域」の指標は。昨年何%進捗したのか。課税基準があやふやでは公平・公正な課税とは言い難いのでは
- (10) 掛川市は毎年の通達も無視して、都市計画区域全域に課税。市では掛川だけだったのだが、青地農地と用途地域外の森林に続いて白地農地と辺地3地区を課税除外した。問題があったから除外したのではないのか、見解を

一般質問通告要旨

議席番号	4	氏名	山本行男	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	------	-----------------

- 1 防災対策について (答弁：市長)
今回の大震災を教訓にして、既存の防災対策を見直す動きがみられる。そのような中で、「女性の視点は生活者の視点」とした提言内容が発表された
 - (1) 掛川市の防災会議の委員には女性は何人登用されているか
 - (2) 地域防災計画作成の際、女性からの意見をどのように反映させているか
 - (3) 災害備蓄品に、女性や乳幼児、高齢者、障がい者等のニーズが踏まえられているか

- 2 災害時のホームページ代理掲載について (答弁：市長)
役所が甚大な被害を受けた時に遠隔地の自治体にホームページを代理掲載してもらい、被害の状況等の情報を発信してもらう仕組み
 - (1) 掛川市ではホームページの代理掲載の計画はあるのか
 - (2) どの市町と提携を計画しているのか

- 3 明年の全国お茶まつりの開催地としてお茶マークのご当地プレート作成について (答弁：市長)
 - (1) ご当地プレートは原動機付自転車のナンバープレートを指し市町によってはユニークなデザインで地域振興に貢献している。明年のお茶まつり開催地としてのPRや掛川市の知名度アップのためにお茶マークのご当地プレートを作る計画はあるか伺う

- 4 人工内耳装用者への助成について (答弁：市長)
人工内耳とは、内耳の蝸牛（かたつむり）に電極を植え込み聴神経を電氣的に刺激して聴覚を取り戻す画期的な医療です。手術には健康保険が適用になり装用者が増えていますが機器使用に伴い乾電池等の高額な負担が掛かっている
 - (1) 掛川市における人工内耳装用者の実態把握と支援の状況を伺う
 - (2) 人工内耳用電池と買い換えに関する助成の実施に向けた取り組みについて伺う

一般質問通告要旨

議席番号	5	氏名	中 上 禮 一	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	---------	-----------------

1 市長マニフェスト未着手6項目について (答弁：市長)

- (1) 交流型観光産業の育成と全国コンベンション大会を誘致し、交流人口の拡大に努めることについて、コメントに市企画政策部及び交流型産業創造会議との連携の中で検討するとありますが、検討している内容について伺う
- (2) デュアル・モード・ビークルの実証実験を平成21年1～2月に実施しているということですが、実証実験の分析結果を伺う
- (3) 先輩市民を顕彰し、公営バスや美術館・タクシーなどの利用優待券を発行することについて、財政状況やアンケート結果を考慮して検討していくとのコメントです。アンケート結果を伺う
- (4) リバースモーゲージ制度の検討について、金融機関及び宅建協会等と検討していくとのコメントですが、需要はどのくらいあると推定しているのか伺う
- (5) 掛川市民ファンドの創設について、コメントでは第3セクターなどによる市民からの資金活用、民間活用を検討しているとのことですが、取り組む決意のほどを伺う
- (6) 余剰資金を必要なところに回す仕組みを検討するということですが、どのような事業を考えているのか伺う

2 病院経営と看護師のキャリアアップについて (答弁：市長)

- (1) 本年度8億円の赤字予算が5億円に縮小する見込みとのことですが、その要因は何か。また、今後改善すべきことは何か伺う
- (2) 掛川市立総合病院に現在、認定看護師、専門看護師は何人いるのか。また、今後キャリアアップについてどのように考えているのか伺う
- (3) 看護師確保対策として、地元の高校にキャリア教育の内容も含め積極的に情報提供して働きかけることも大切と思うが市長の考えを伺う

3 教職員の精神疾患に対する予防策について (答弁：教育長)

- (1) 教職への理想と現実のギャップに悩んでいる若い教員が多いと聞くが、ギャップとしてどのようなことがあるのか伺う
- (2) 教職員の相談内容として、本市にはどのようなことが寄せられているのか。また、予防策としてどのような対応をされているのか伺う

一般質問通告要旨

議席番号	3	氏名	川瀬 守 弘	質問の方式 (一問一答・総括)
------	---	----	--------	-----------------

1 原発事故について

(答弁：市長)

- (1) 福島原発事故は、原発依存のエネルギー政策の根本的見直しを迫っている。電力会社は、専ら「想定外」の津波による電源喪失だと言っている。地震による配管破断が本当になかったのか、地震による原子力プラントの破壊はどうだったのか、その検証・解明抜きに再稼働はあり得ないと考えるが見解を伺う
- (2) 原発の致命的欠陥のひとつは、使用済み核燃料を安全に処理できないことである。破綻している「核燃料サイクル」について見解を伺う
- (3) 4市対策協議会の目的は、住民の安全確保・調査研究ということだが、4市対協のあり方、30キロメートル圏に範囲を広げていく方向性について見解を伺う

2 津波対策について

(答弁：市長・教育長)

- (1) 福祉施設の避難対策・避難訓練についての対応を伺う
- (2) 「釜石の奇跡に学ぶ」学校・幼稚園・保育園の避難対策・避難訓練について伺う
- (3) 「防災」を教科として創設すべきとの識者の声がある。小中学校での教科書・副読本では津波についての記述はどうか伺う

3 健康医療について

(答弁：市長)

- (1) 特定健診の受診率アップについて方策を伺う
- (2) 高齢者用肺炎球菌ワクチンの公費助成について伺う
- (3) 特別養護老人ホームが不足している。次期計画で拡充が必要と考えるが見解を伺う